

公益社団法人美濃市シルバー人材センター
令和2年度事業報告

我が国の高齢化率は28.7%に達し世界に類を見ない超高齢化社会が進行しており、少子高齢化の進展に伴い、将来に必要な労働力人口が減少することが懸念されています。

高齢化、少子化が進む中、日本経済の活力を維持していくためには、働く意欲のある高齢者が、長年培ってきた知識や経験を活かし、年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが不可欠とされており、就業を通じて高年齢者の福祉増進に資するシルバー人材センター事業の重要性と地域社会の期待は一層大きくなっておりま

す。一方、企業等における65歳定年延長、再雇用等による高年齢者の雇用の推進により入会する会員の減少と高齢などを理由に退会する会員が増加し年々会員数が減少する結果となっています。

こうした中、会員拡大の取り組みとして、毎月の入会説明会のほか広報誌「シルバー美濃」の全世帯配布や市民参加の講習会の開催などを実施し、加入促進を行いました。3月末の会員数は290名で、前年同期に比べ3名の減少となり、減少に歯止めをかけるには至りませんでした。

令和2年度の事業実績につきましては、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により休業及び時短営業などが大きく影響したことで、前年度と比較すると、受託事業は受注件数で80件の減、受注金額で5,526千円の減、就業延人員で1,468人日の減となりました。

一方、派遣事業は受注件数で8件の減、契約金額で6,430千円の減、就業延人員で1,437人日の減となりました。

結果、受託事業と派遣事業合わせた総受注金額は前年度を12%ほど下回る8,778万円となりました。

今後も、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立」、「共働・共助」の基、会員の拡大、就業機会の拡大、適正就業の徹底、安全対策に取り組むとともに、会員・役職員が一体となって事業運営に取り組んでまいります。

以下、事業実績と経過については、次のとおりです。

◎主な事業実績

受託事業

項目	令和元年度	令和2年度	対前年比較
会員数	293人	290人	99.0%
受注件数	2,360件	2,280件	96.6%
契約金額	80,163,836円	74,638,123円	93.1%
就業延人員	18,073人日	16,605人日	91.9%

※受注件数は延べ件数

派遣事業

項目	令和元年度	令和2年度	対前年比較
会員数	58人	60人	100.4%
受注件数	38件	30件	78.9%
契約金額	19,576,134円	13,146,209円	67.2%
就業延人員	4,098人日	2,642人日	64.5%

※受注件数は延べ件数

◎事業実施結果

1. 事業実績

別表（1）事業実績

別表（2）職群別事業実績

別表（3）年度別契約金額の推移

2. 会員の状況

別表（4）会員登録状況

3. 普及啓発活動

- ・広報（機関）誌「シルバー美濃」の発刊
年1回発行し、市内全世帯に配布すると共に、センター事業、会員の活動状況や会員募集等の情報を発信しました。
- ・美濃市くらしのガイドブックに広告の掲載と新聞折込によるチラシの配布
市内全世帯に配布すると共に、会員募集とシルバー人材センターの業務の紹介に努めました。
- ・長良川鉄道での車内広告の掲示
関市、美濃加茂市、郡上市、富加町の各シルバー人材センターと協力して鉄道車両内にポスターを掲示し、会員募集とシルバー人材センターの業務の紹介に努めました。
- ・「事務局だより」を毎月発行して、会員との情報交換に努めました。
- ・毎月第3水曜日及び要望により3回の入会説明会を行いました。

4. 就業拡大と就業率の向上

チラシ、パンフレットを活用して就業機会の開拓やセンター事業のPRに努めました。

5. 講習会等の開催

- ・剪定講習会

日時：令和2年11月16日

場所：美濃市図書館前庭園

13人（市民参加8人）

- 刈払機作業講習会（高齢者活躍人材確保育成事業技能講習）

日時：令和2年12月8日

場所：美濃市シルバー人材センター 20人（うち美濃市在住6人）

6. 安全対策

- 事故発生状況

《 傷 害 事 故 》

年 度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
発生件数	0	0	2	0	1
就業中事故	0	0	2	0	1
途上事故	0	0	0	0	0

《 賠 償 事 故 》

年 度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
発生件数	3	3	1	2	1
対 人	0	0	0	0	0
対 物	3	3	1	2	1

- 令和2年度事故内容

〈 傷 害 〉

草刈り作業中飛び石によりばい菌による顔面に炎症 1件

〈 対 物 〉

草刈り作業中飛び石により軽トラの後ろのガラス破損 1件

7. 長期就業の是正

適正就業の推進のため、会員の適正就業推進要綱に基づき、長期就業の是正に努めました。

8. シルバー派遣事業の実施

- 適正就業ガイドラインに基づき、請負及び委任契約の業務内容・就業形態をチェックし事業実施の適正化に努めました。
- 1年以上の雇用見込みのある派遣会員に対し教育訓練（キャリアアップ措置）を実施しました。

9. 独自事業

会員の自主的な組織の「石鹼部会」と「焼きいも部会」が、道の駅などで「うだつ石鹼・石焼きいも・さつまいも」の販売を行うことによりシルバー人材センターのPRに努めました。